

M2019 BLAST PISTOL

組立説明書



Elfin Knights Project

2007-10-01

下準備

まず、部品を確認しましょう。

パーツ点数は

キャストパーツ 15点
 メタルパーツ 26点
 螺子 次ページ参照
 電子部品 下記参照

基本はレジンパーツもメタルパーツも中性洗剤でよく洗ってください。(メタルパーツについては専用の下地処理剤が市販でありますのでそれを使われるのも良いでしょう。)

レジンパーツにはバリがありますので削り螺子穴は貫通させておきましょう。また、複製の関係でパーツが歪んでいる場合があります。ドライヤーで暖めたり熱湯に浸けるなどして変形を直しましょう。

レジンパーツ (キャストパーツ)



メタルパーツ

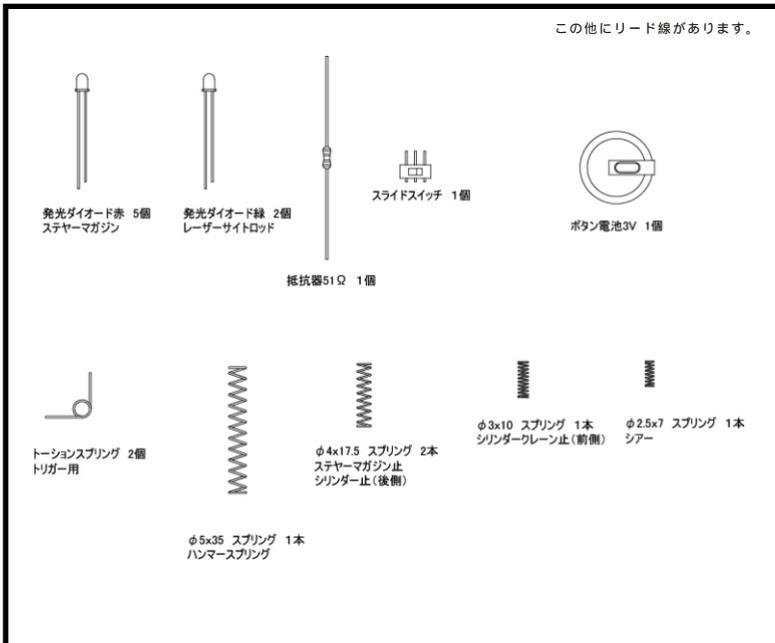
メタルパーツはコードのパーツを除き黒染めします。

レジンパーツ (キャストパーツ)

透明レジンキャストパーツ



電子部品 & スプリング



準備道具

カッター、ヤスリ、ピンバイス (ドリル刃 0.8、2、2.6、2.9、3、3.2、3.8、4)

レンチ (1.5mm、2mm、2.5mm、3mm)

ドライバー (+ -)

塗装用具、塗料

螺子



M4x8 ナベキャップ 3本
シリンダーカバー止 1
ボルトエンド止 1
フロントサイト 1



M4x20 キャップネジ 1本
シリンダーカバー止



M4x20 マイナストラスネジ 1本
シリンダーカバー止

どちらかを選択



M3x5 平マイナス 1本
シリンダーラッチ止



M3x20 皿 1本
パレル止



M3x10 ナベプラス 1本
オーバーサイズ
グリップフレーム止



M3x16 キャップネジ 1本
シリンダーカバー止



M3x22 キャップネジ 1本
シリンダーカバー止



M3x12 ホローネジ 1本
シリンダークレーン軸



M3x6 皿キャップネジ 4本
フルドックグリップフレーム止



M3x8 キャップネジ 6本
レシーバー 2
グリップ 4



M2.6x15 キャップネジ 3本
グリップエンドプレート止 2
オーバーサイズグリップ前側 1



M2.6x8 キャップネジ 2本
グリップフレーム後側 1
ステヤーマガジンハウジング止 1



M2.6x6 皿プラスネジ 1本
シリンダークレーン止



M2x5 皿プラスネジ 2本
レーザーサイト止



M2x6 キャップネジ 1本
ステヤーマガジンハウジング止



M4(9.8x4.5) ワッシャー 1枚
メインスプリング止



M4-2種(1mm)ナット 1枚
ボルトエンド止



M4-2種(1.5mm)ナット 3枚
シリンダーカバー(右側)止 2
フロントサイト止 1



M3x20長ナット 1本
パレル止



M3x12長ナット 2本
オーバーサイズ
グリップフレーム止



M3x8長ナット 2本
フルドック
グリップフレーム止



M3ナット 5枚
パレル止 1
シリンダーカバー(左側)止 2
シリンダークレーン軸止 1
オーバーサイズグリップフレーム止 1



M3-2種(薄)ナット 1枚
シリンダーラッチ止



M2.6 ナット 6枚
グリップフレーム(前後) 2
グリップエンドプレート止 2
シリンダークレーン止 1
ステヤーマガジンハウジング止 1



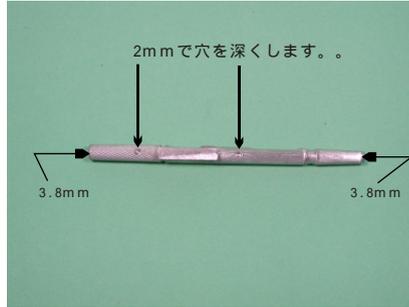
M2 ナット 3枚
レーザーサイトロッド 2
ステヤーマガジンハウジング止 1

下準備

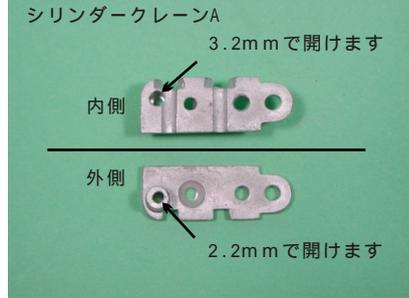
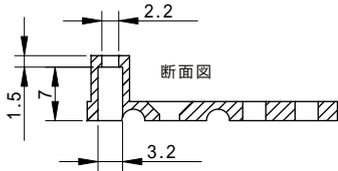
メタルパーツに穴を開けます。
ここではポイントになるところを紹介します。

ダミーレーザーポインターの側面の穴を開けます。
2mmで1.5mmの深さにします。

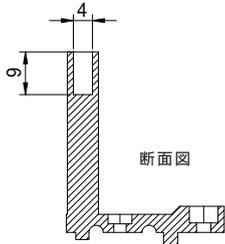
ダイオードの入る穴を 3.8であけます。
4mmでも可ですがダイオードをピッタリ嵌める
には 3.8mmをお勧めします。



シリンダークレーンAに両側から穴を開けます。
外側から 2.2mm (2mmでも可)
内側から 3.2mm (3mmでも可)



シリンダークレーンの軸の穴を深くします。
4mmで9mmの深さにします。
(大変な場合はシリンダーストップピンと
スプリングの長さを切る事でも可能です。)



グリップフレームは複製の過程で変形していることが
あります。グリッププレートに合わせて確認して
変形しているようでしたら螺子穴を合わせるよう
に変形を戻して置くと良いです。



右の写真のパーツは黒染めします。



下準備

塗装について

塗装は組立前にすると良いのですが組立後でもある程度は分解が出来るので組立後の塗装も可能です。

メタルパーツ

メタルパーツはすべてを黒染めする必要はありません。右にあるパーツを黒染めします。

黒染めについては当社では、黒染め液につけ込んだ後常温黒染め剤スプレーで黒染めします。

コードのパーツは白色なのでメタルプライマーで下地処理をし艶消し白で塗装します。

弾のパーツはメタルプライマーで下地処理をし真鍮色でカートリッジ部分を弾頭部分を鉛色または銅色で塗装すると良いと思います。当社ではカートリッジ部分をプラモデル用の金色、弾頭部分はホワイトメタルの地の色を生かしております。

プラスチックパーツ (無発砲ウレタンパーツ)

通称キャストパーツは、本来鉄であるパーツとプラスチックであるパーツを塗り分けることをお勧めします。

鉄であるパーツは下地処理をして金属色ので出る塗料で塗装します。当社では先の黒染め剤スプレーを使っております。

プラスチックパーツは艶ありの黒色で塗装すると良いでしょう。当社では、プラモデル用の黒色スプレーで塗装しております。



トリガーの組み立て

トリガー（F & R）の軸にトーションスプリングを通します。
はみ出した部分は切り取りましょう。



フレームに嵌め込みます。
軸の穴が小さい場合は 3.2で開け直します。

スプリングは写真のようにフレームに掛けるように
セットします。



ハンマーとの噛み合いは写真を参照のこと。
トリガーのツメをハンマーとシアーの間に入る
ようにセットします。

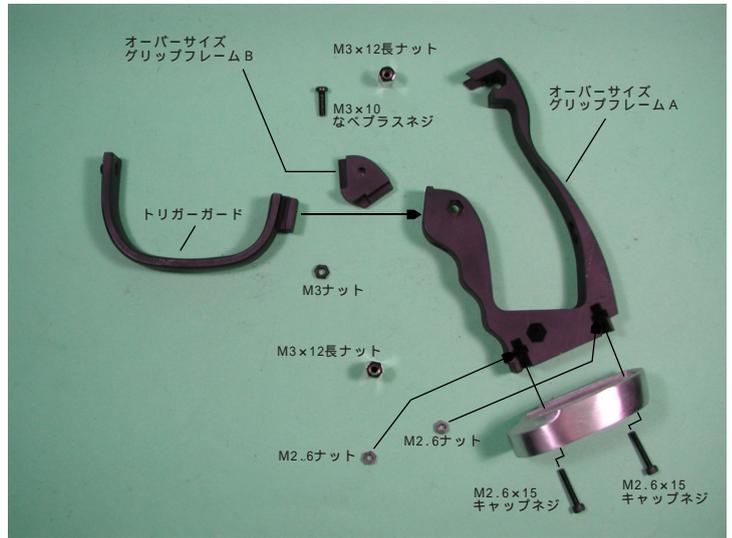


オーバーサイズグリップフレーム トリガーガードの組み立て

トリガーガードの突起をオーバーサイズグリップフレームAの溝に差込オーバーサイズグリップフレームBで挟み込みM3×10なベプラスネジで固定します。

M2.6ナットをグリップフレームAの穴に落とし込みグリップエンドプレートを嵌めてM3×15キャップネジで固定します。

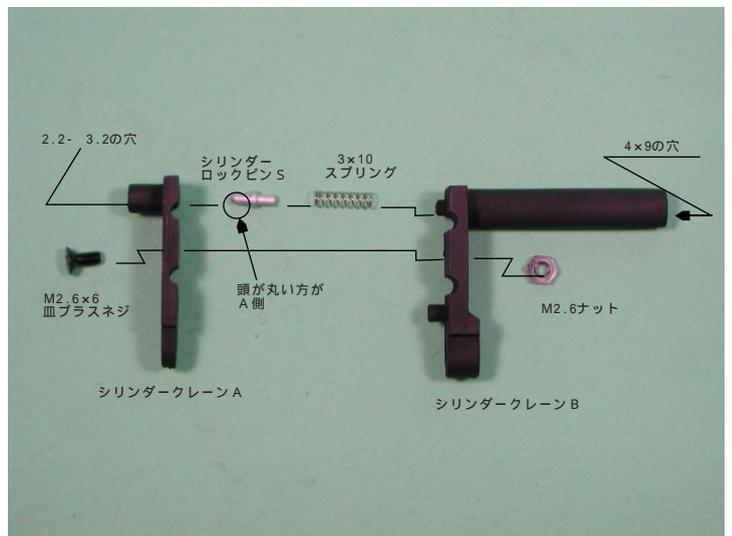
M3×12長ナットはグリップフレームAの穴に入れます。(固定しなくても問題はありませんが気になる方は瞬間接着剤で仮止めしておいても良いでしょう。)



シリンダークレーン組み立て

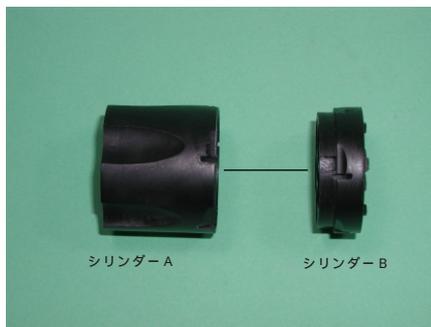
シリンダークレーンAの穴にシリンダーロックピンSを入れ(向きに注意) 3×10のスプリングを通しシリンダークレーンBで閉じM2.6×6のネジで閉めて固定します。

シリンダークレーンAの穴は下準備を参照。



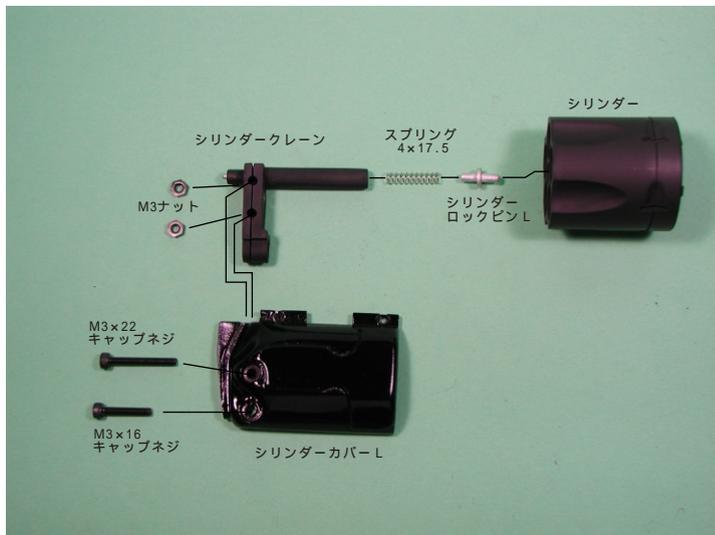
シリンダー部分に組み立て

シリンダー A、シリンダー B を瞬間接着剤で固定します。



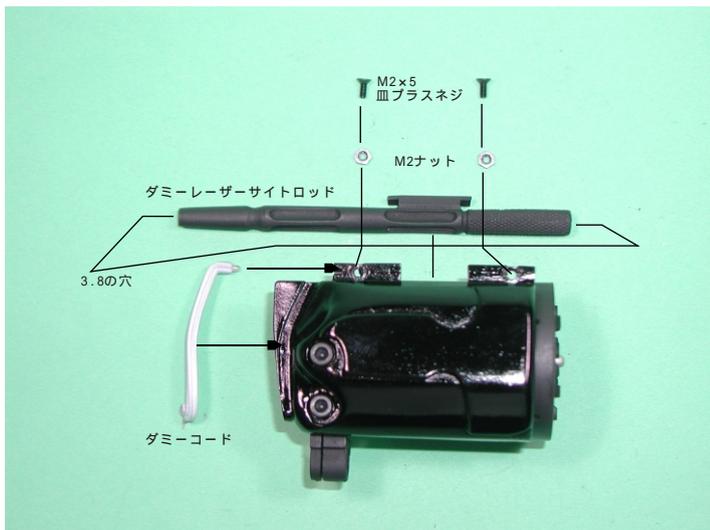
シリンダー クレーンに M 3 のナットを嵌め込み
シリンダー カバー L をキャップネジ M3×22、
M3×16 で固定します。

シリンダー クレーンの 4 の穴にスプリング 4×17.5
シリンダー ロックピン L を入れシリンダー を通します。



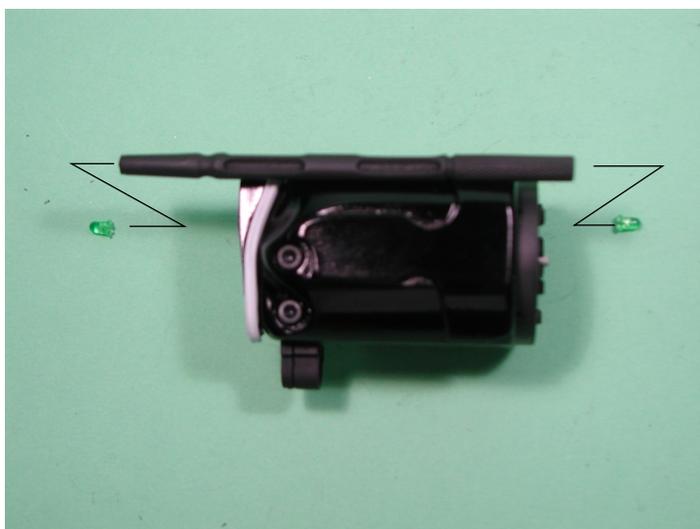
シリンダー カバー L の溝に嵌るようにダミーコード
パーツを嵌め込みます。
緩いようでしたら瞬間接着剤で固定します。

シリンダー カバー L の穴に M2 のナットを嵌め込み
ダミーレーザーポインターロッドを嵌めて M2×5
皿プラスネジで固定します。
(閉めすぎるとシリンダー カバー L が破損します。
ご注意ください。)



ダイオードは完全に脚を切ります。

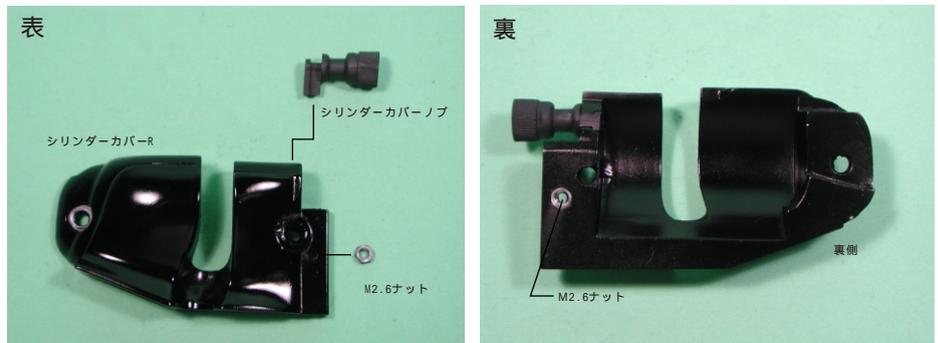
ダミーレーザーポインターロッドにダイオード (緑)
を瞬間接着剤で固定します。



シリンダーカバーR の組み立て

シリンダーカバーRに裏側から
シリンダーカバーノブを差込みます。

マガジンハウジングとの固定用の
M2.6ナットを嵌め込みます



組み立てたブルドックフレームにシリンダーカバーRを仮止めします。

シリンダーカバーRにM4×15のキャップボルトを通しフレームのM4のナット（フレームの組立で嵌め込んだM4-三種ナット）で仮止めします。



マガジンハウジング組立

マガジンハウジングにマガジンハウジングボルトを差込み、マガジンハウジングをバレル下のレールにスライドさせ取り付けます。

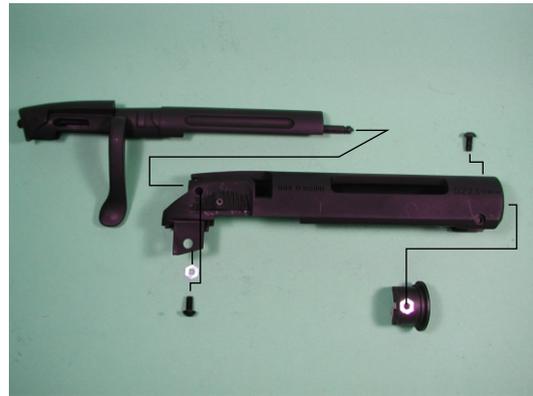
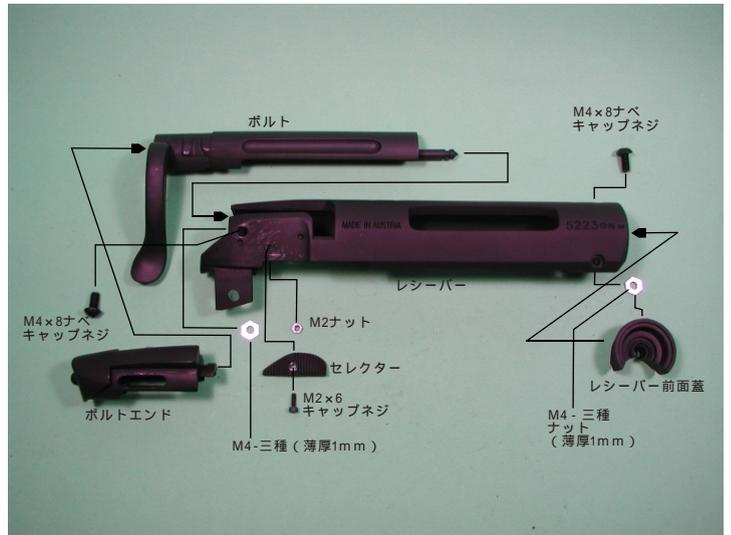
スコープダイヤルノブを先に組み立てたブルドックフレームのM4×15のネジの頭に嵌め込みます。後の分解のために両面テープをネジ頭に巻いてノブを被せ固定します。



レシーバーの組立

レシーバー前面蓋にM4-三種（薄厚1.5mm）を嵌め、レシーバーにM4×8ナベキャップネジで取り付けます。

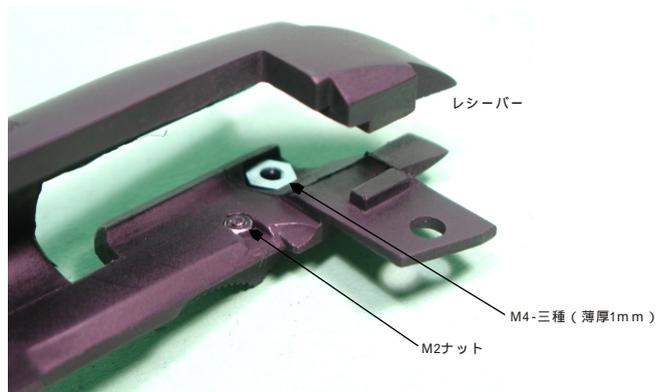
レシーバー内側にM2ナットを嵌め込みセクターをM2×6キャップネジでレシーバーに取り付けます。



M4 - 三種（薄厚1mm）のナットをレシーバーの内側に嵌め込む。

ボルトにボルトエンドをかみ込ませレシーバーに通します

ボルトの先端のロッドがレシーバー前面蓋の穴に入るように取り付けてください。



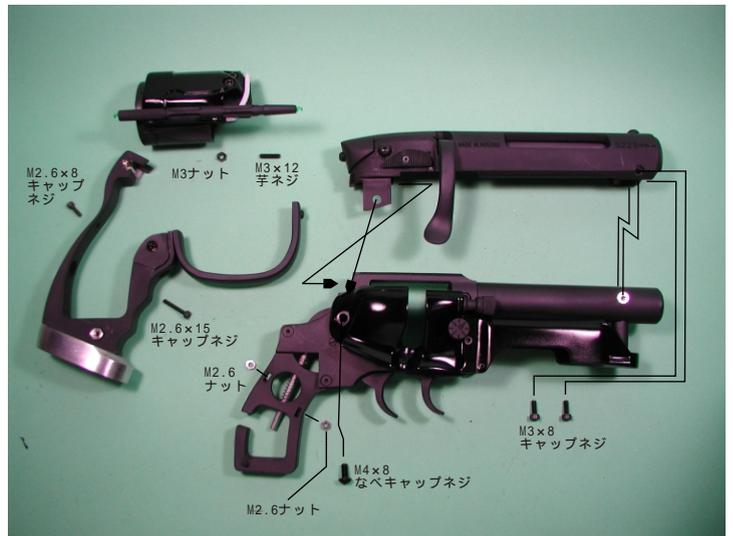
ボルトエンドのパーツの長穴を合せてM4×8ナベキャップネジで固定します。



組み立て

先に組み立てたパーツを組み付けていきます。

レシーバー部分をブルドックフレームに取り付けます。ブルドックフレーム後部の切り欠きにレシーバーの突起を引っ掛けパレルに被せるように取り付けM3×8キャップネジで固定します。



シリンダー部分をブルドックフレームに取り付けます。シリンダークレーンの六角の穴にM3ナットを落とし込みフレームの溝にシリンダークレーン部分を挟み込み芋ネジを締めて固定します。芋ネジはフレームの両方に掛かるように締めます。



オーバーサイズグリップフレームを取り付けます。ブルドックフレームのグリップ部にM2.6のナットを落とし込みブルドックフレームの突起にトリガーガードの穴を嵌めてからブルドックフレームのグリップに嵌めます。

オーバーサイズグリップフレームの前後の穴を合せM2.6×15、M2.6×8のキャップネジで固定します。。



グリップ部取り付け

グリップパネルをM3×8キャップネジで両側から固定します。



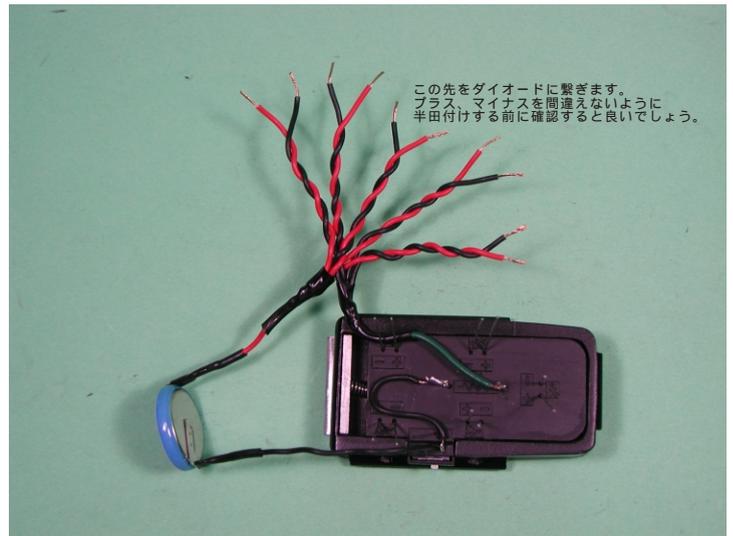
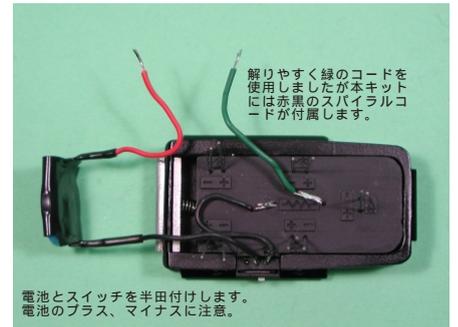
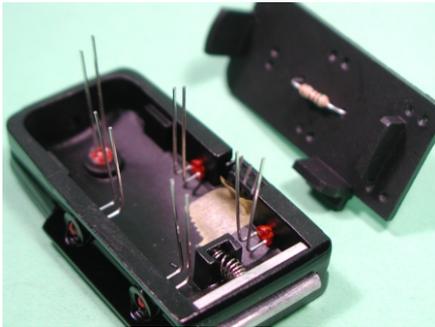
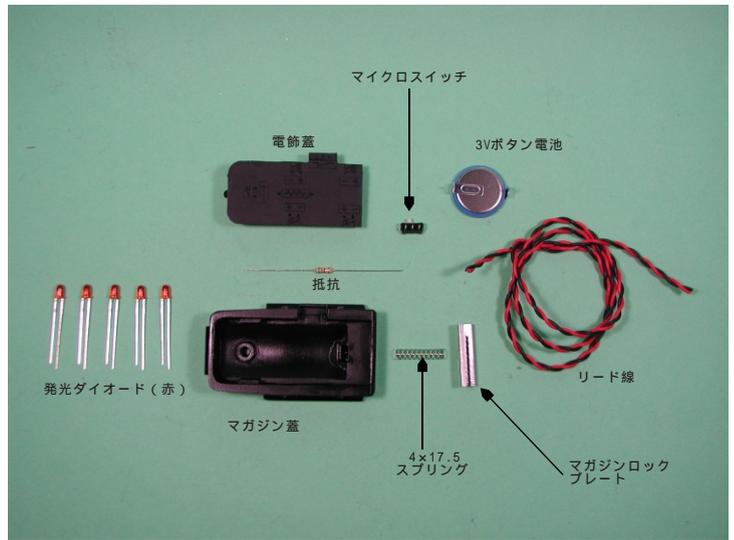
マガジン部分及び発光ダイオード配線製作

マガジンロックプレートをマガジン蓋後端に入れ、4のスプリングを入れて留めます。向きにご注意ください。ロックプレートにはスプリングの入る窪みがあります。

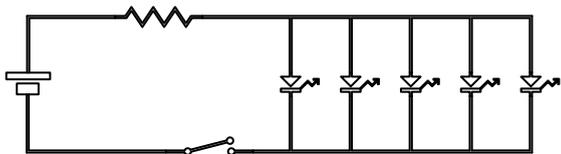
電飾の製作

発光ダイオード4本の脚を90度折り曲げてプラス、マイナスにご注意ください。ダイオードはプラス、マイナスを反対にすると発光しません。マガジン蓋の穴に挿入します。中心の1個はそのまま差し込みます。

発光ダイオードは足の長いほうがプラスです。御注意ください。



配線図



電池とスイッチ、スイッチと抵抗を半田付けします。電池にはビニールテープを巻いて漏電を防止します。

発光ダイオードと接続します。プラスマイナスを間違わない様に半田付けします。



完成 ~

マガジン蓋を取り付けて完成となります。
取り付けは前方の突起をマガジンハウジングの
内側の窪みに引っ掛けるようにして弧を描く
ように押し込みます。

お疲れ様でした。

